

別紙

福祉サービス第三者評価の結果

1 評価機関

名称：特定非営利法人 環境・福祉事業評価センター	所在地： 長野県長野市南高田2-5-16
評価実施期間： 令和2年7月1日から令和2年12月25日まで	
評価調査者（評価調査者養成研修修了者番号を記載） 050301 60741 B18055	

2 福祉サービス事業者情報（令和2年10月現在）

事業所名：（施設名）長野市 昭和保育園	種別：保育所
代表者氏名：市長 加藤 久雄 （管理者氏名）保育・幼稚園課課長 島田 みち代	定員（利用人数）：133（131）名
設置主体：長野市 経営主体：長野市	開設（指定）年月日： 昭和41年10月16日
所在地：〒381-2226 長野市川中島町今井1869-2	
電話番号：026-284-4479	FAX番号：026-284-4479
電子メールアドレス：syowa-hoiku@city.nagano.lg.jp	
ホームページアドレス：https://www.city.nagano.nagano.jp	
職員数	常勤職員：25名 非常勤職員：7名
専門職員	（専門職の名称）名 保育士：22名
	園長：1名 看護師：1名
	保育主任：1名 調理員：5名
施設・設備 の概要	（居室数） （設備等）
	乳児室 3室 沐浴室 1室 保育室 5室 調理室 1室 事務室 1室 遊戯室 1室 便所 2室 調乳室 1室 ジャングルジム・雲梯・滑り台 鉄棒（使用不可）

3 理念・基本方針

<p>【保育理念】</p> <p>○こどもの健やかな心身の発達を図り、望ましい未来を作り出す力の基礎を培う。</p> <ul style="list-style-type: none">・児童福祉法に基づき、保育を必要とする子どもを保育することを目的とする。・子どもの最善の利益を考慮し、その福祉を積極的に増進する。 <p>【基本方針】</p> <p>○安全で安心できる生活の場を整え、子どもが自己を十分発揮できるようにします。</p> <p>○専門の資格を持った職員が養護と教育を一体的に行い、子どもの発達を援助します。</p> <p>○保護者の気持ちを受け止め、共に子育てをします。</p> <p>○家庭と連携を図りながら、子育ての悩みや相談に応じ助言するなど、地域における子育て支援の拠点として、社会的役割を果たします。</p> <p>○保育を実践するにあたっては、「全体的な計画」に基づき、一貫性を持って子どもの</p>

実態に応じた柔軟な保育を展開します。

【長野市昭和保育園の保育目標】

- たくさん遊んでおいしく食べる子ども
- あいさつできる子ども
- 挑戦する子ども
- 話を聞き自分の思いを伝える子ども

4 福祉サービス事業者の特徴的な取り組み

【昭和保育園の概要】

昭和保育園は昭和26年4月に川中島町立昭和保育園として開園し、昭和41年10月に長野市に合併し長野市立昭和保育園となった。昭和60年に全面改築し現在に至っている。未満児に対応するため平成25年3月事務室を縮小し、新たに事務室西側に未満児室を増築した。

設立当時は昭和小学校、中津農協、川中島支所に囲まれた川中島の中心地にあり、静かな農村地区であり園児のほとんどは、農家の子ども達であった。その後、年々農村から住宅地となり専業農家からサラリーマン家庭の子ども達が多くなってきた。1997年には今井駅の開業とオリンピック選手村が開設され1998年冬期オリンピック後は、今井ニュータウンとなり人口も増加してきた。道路交通網も整備され、商業区域も広がり賑やかな地域となってきている。

定数133名の大規模保育園であり、0歳児9人、1歳児22人、2歳児15人、3歳児28人、4歳児23人、5歳児以上34人の131人となっている。乳児室はいちご組(0,1歳児)もも組(1歳児)りんご組(1,2歳児)ひまわり組、ゆり組、ばら組(3,4歳児)あさがお組、さくら組(5歳児)と異年齢を組み合わせ編成されている。特に未満児の編成はベテランの職員が配置されており良く出来ている。生後4か月よりの未満児や、障がい児を受け入れている。園開放(おひさま広場)で6月から2月まで毎週木曜日に未就園児を対象に開催している。また、延長保育、未就園児の一時預かり保育を提供している。人口の増加と共に入所園児数も増え時間外保育利用が増えている。

職員配置では特に障害児の加配保育士1名、代替保育士が11名、看護師が1名常勤しており健康支援、事故防止やけがや病気、アレルギーの対応や保護者への対応をしている。また新型コロナウイルス等の感染症対応をしている。

【昭和保育園の特徴的な取り組み】

園外保育の充実

令和元年度に「信州やまほいく(信州型自然保育)」の認定を受けている。市街地にあっても隣の昭和小学校や近隣の公園で自然と触れ合う園外保育を積極的に取り組んでいる。また全体的な計画と整合する信州やまほいく計画が作成され「信州やまほいく」の実践を積み上げている。今年は新型コロナウイルスの影響で一部園外保育の計画が変更になっている。

異年齢保育の充実

昭和保育園では、いちご組(0,1歳児)りんご組(1,2歳児)ひまわり組、ゆり組、ばら組各3,4歳児)がある。2020年度の事業計画の重点課題として「異年齢保育を充実させる」とし全体的な計画の中で「保育目標」「子どもの保育目標」と整合性を持って異年齢保育を計画し実施している。

個別支援が必要な子へ支援の充実

昭和保育園では、特に障がいなど配慮が必要な子どもへの支援を整え多くの子ども

を受け入れている。職員間での支援体制を共有しており、児童相談所、稲荷山養護学校等の専門機関と相談できる体制が整っている。園では保育を必要とする専門の相談員である特別支援教育・保育コーディネーターの役割が機能している。

5 第三者評価の受審状況

受審回数（前回の受審時期）	2回（平成29年度）
---------------	------------

6 評価結果総評（利用者調査結果を含む。）

特に良いと思う点

（1）新型コロナウイルスの感染症に組織全体で取り組んでいる。

新型コロナウイルスの感染防止について集団発生防止のため園全体で取り組んでいる。看護師が1名常駐しており、保護者、職員、園児に関する感染症対策の中心として機能しており、保護者の安心に繋がっている。毎朝保護者から、園児の検温と健康観察の記録を登園時に確認し、職員で共有し、当園後は活動に移る前に手洗い、職員も出勤後手洗いのあと業務に移っている。職員は業務中マスクを着用し、各保育室にアルコール消毒を設置、食事中はテーブルを離し、園児とは別の場所や時間をずらしている。また、保育室、事務室、給食室の換気を最低1時間に2回行っている。これらの感染症防止については全ての職員に共有されている。行事については保護者総会・保育参加・試食会は中止、またおにぎり散歩や春の遠足、世代間交流やボランティアの受け入れも中止や変更となっている。こうした中、入園式、個別懇談会、プール参観、未満児クラス懇談会、夏祭りの降園時にヨーヨー釣り、ミニ運動会等が感染防止を考慮し実施されている。こうした取り組みについて保護者へのアンケートを通じ意見要望を聴いている。保護者が参加できない行事については動画で見ることができ可視化され工夫している。更に、保護者とは園児を玄関で引き渡すため玄関での掲示や園児の写真を工夫して掲載している。また園長、職員が積極的に園児の登園やお迎え時に園外で保護者に挨拶している姿があった。これらの取り組みは保育園全体で行っている。職員の負担も増えているが、職員の感染予防や保護者との信頼につながっており特に良い点として評価できる。

（2）異年齢保育の充実している。

昭和保育園では、いちご組（0, 1歳児）、りんご組（1, 2歳児）、ひまわり組、ゆり組、ばら組各3, 4歳児）がある。2020年度の事業計画の重点課題として「異年齢保育を充実させる」とし全体的な計画の中で「保育目標」、「子どもの保育目標」と整合性を持って異年齢保育を計画し実施している。また、隣に昭和小学校があり、校庭への散歩や築山でのソリ遊びができ小学生との交流を深めている。今年はコロナウイルスの関係で中止されているが、例年であると学校発表会、一日入学、運動会の参加等幼保小の連携が進んでいる。8月の園だよりでも異年齢の子どもとの関わり事例が紹介されている。結果として異なる年齢の子どもと接することで年上の子どもに優しく接してもらうことで、自分よりも年下の子どもに思いやりの気持ちを持って接することができお互いに学べ、違う年齢の友達と仲良くすることによって、友達の幅が広がり、年齢に関係なく友達を作ることができ、その中で、遊びの楽しさやルールを体験しさまざまなスキルを身につけられるよう工夫している。アンケートでも異年齢保育について保護者の理解が得られ子どもの発育や意欲を促すような活動・遊び等が行われていると評価している。安全面での配慮、保育士の負担等が増えるケースが考えられるが未満児クラスへの十分な職員配置と研修、保育士自身の振り返りには園長より個々の職員への手紙や心のメンテナンスを行っている。異年齢保育の充実は特に良い点として評価できる。

（3）個別支援が必要な子へ支援の充実している。

長野市では長野市子ども・子育て支援事業計画の中で障がい児等の受け入れの強化と支援を掲げている。昭和保育園では、特に障がいなど配慮が必要な子どもへの支援を整え多くの子どもを受け入れている。職員間での支援体制を共有しており、児童相談所、稲荷山養護学校等の専門機関と相談できる体制が整っている。園では保育を必要とする専門の相談員である特別支援教育・保育コーディネーターの役割が機能している。医療的なケアや障がいのあるなしに関わらず、一人ひとりの個性を尊重し全てを含む意味をもつインクルーシブな環境を幼いころから経験することで、子どもがお互いに大切にする心を育むよう努力している。看護師が常駐し医療的ケアを担当し、保育士と連携し、障がいのあるなしに関わらず、別室を設けることもなく過ごし共に遊ぶインクルーシブ保育を実践している点は特に良い点として評価できる。

（4）保育園の基本的な考え方の周知が向上している。

昭和保育園では、前回の第三者評価で保育園の基本的な考え方（保育目標・保育方針）の保護者への周知が改善の項目として指摘されていました。前回の保護者アンケートでは、保育園の基本的な考え方（保

育目標・保育方針）を知っている割合が65%であった。今回の第2回目の第三者評価でのアンケート結果では「はい」と回答した保護者の割合は79%に向上した結果となった。特に知っていると回答した保護者全員が保育園の基本的な考え方（保育目標・保育方針）に納得していると回答している。前回の報告書を踏まえ結果に対する昭和保育園のコメントにもあるように継続的に入園の手続き、保護者との交流、園だより等で改善した結果と考えられる。第三者評価の仕組みを生かした取り組みとして特に良い点として評価できる。に

ず、別室を設けることなくともにお過ごし、ともに遊ぶ保育環境が特徴です。

特に改善する必要があると思う点

（1）施設環境における遊具の充実

利用者アンケートの施設環境では、「お子さんの発育や意欲を促すような遊具・玩具が十分に用意されていますか」の質問では「はい」が68%、「どちらともいえない」が16%、「いいえ」が5%となっている。前回のアンケート結果では「はい」が76%、「どちらともいえない」が12%、「いいえ」が4%となっており、前回のアンケート結果より低い結果となった。アンケートでは保護者から「予算の関係かと思いますが、遊具などの使用制限がされている現状が解消されれば良いなと思います。また、遊び道具は先生方の手作りと思われるのが多く先生の負担になっていないか気になります。」という要望が寄せられている。

屋外遊具については、ジャングルジム・鉄棒・雲梯・滑り台が設置されているが、現在、鉄棒については使用が禁止されている状態である。使用が禁止されている屋外遊戯については使用しないよう安全に配慮されているが、使用できない遊具については園児の誤った利用による怪我等のリスクが内在しており、リスクを減らすためにも使用が禁止されている遊具の撤去と代替りの屋外遊具の設置について検討することを期待する。

（2）不審者に対する安全な対策の充実

利用者アンケートの「外部からの侵入に対して安全な対策が取られていますか」の質問では「はい」が55%、「どちらともいえない」が32%、「いいえ」が7%となっており「はい」の割合が低い項目になっている。前回のアンケートでは「はい」が22%、「どちらともいえない」が55%、「いいえ」が22%であり前回のアンケート結果からは大幅に向上した。

園でも玄関の入り口のかぎを3つにするなど施錠を徹底している。「部外者発見のマニュアル」を整備し不審者対応の訓練を実施したり保育士同士の役割を決め連携を図る取り組みをしており前回からアンケート結果と比較し安全な対策が取られていると判断する割合が増え、取り組みの成果が見られる。しかし、他の保育園と同様に、この利用者アンケート結果が低く、また保護者からの防犯対策の要望が多い項目となっている。保育園に通う年齢の低い子ども達にとって狙われやすい存在であること、また、保育園に対する不審者侵入事例が発生していることから、保護者からの不審者対策を求める要望が多い。

このような状況の中で、長野県においても佐久市で市立全ての保育園に防犯カメラを設置する報道がありました。予算がかかりますが、防犯カメラやオートロックの設置、正面玄関でのインターホンとカメラでの確認等の検討も必要な時期にきていると思われる。防犯カメラの設置については、プライバシーの保護を含め保護者、警察、行政の連携や、予算について議会等様々な関係者との協議が求められる。安全な対策の検討が更に進むことを期待する。

7 事業評価の結果（詳細）と講評

共通項目（別添1）

内容評価項目（別添2）

8 利用者調査の結果

アンケート方式の場合（別添3 - 1）

9 第三者評価結果に対する福祉サービス事業者のコメント（別添4）

（令和2年12月18日記載）

長野市の保育理念や基本方針に沿った、質の高い乳幼児保育の提供を目指し、園内研修を行うとともに、全職員が保育の振り返りや利用者サービス、職員育成に取り組んできました。今回の第三者外部評価の受審により、昭和保育園の日常の保育活動を審査いただくことで成果や課題等について再認識することができました。

また、保護者の皆様には、アンケートで温かい励ましのお言葉、改善を促すお言葉等をいただきありがとうございました。

評価結果総評の「特に良いと思う点」

- 1 新型コロナウイルスの感染症に組織全体で取り組んでいる。
- 2 異年齢保育が充実している。
- 3 個別支援が必要な子への支援が充実している。
- 4 保育園の基本的な考え方の周知が向上している。

に関しては、さらに伸ばしていくために継続して取り組んでいきます。

「特に改善する必要があると思う点」

- 1 施設環境における遊具の充実
- 2 不審者に対する安全な対策の充実

に関しては、自園だけでは解決できないことですので、保育・幼稚園課と共に改善できることから取り組んでいきます。

環境・福祉事業評価センター様には昭和保育園の良いところや改善点を示していただきありがとうございました。今後もより良い保育の提供を行うために改善を行い、職員一同、子ども達及び保護者の皆様の最善の利益に繋がるよう努めてまいります。